



濱口梧陵先生像除幕式

2000年の風雪にも耐えると言うブロンズ像は
耐久のシンボルとしての期待が大きく
創立150周年にふさわしい記念事業となった。

No. 11

とき 2002年11月2日
ところ 耐久高等学校庭園

濱口梧陵先生の像建立・除幕式

十一月二日(土)、気がかりだった天候も、冷風が若干吹くものの晴天に恵まれ、記念式典の朝を迎えることができた。

午前十時頃までには受け付け準備も完了し、来校者を待つばかりとなつた。十時半過ぎから、続々と来賓・来校者の方々がお見えになり、関係者の緊張感が高まる中、濱口梧陵先生の像建立・除幕式が挙行された。

プラスバンド部・合唱部による校歌演奏・齐唱に始まり、橋本佳巳同窓会長、校主濱口家代



表浜口道雄氏のあいさつ、関係者・生徒代表による除幕、故木下繁先生のご遺族、神部峰男・名古屋芸術大学教授、林造園石材様へ念撮影と、三十分あまりではあります。式は厳肅なうちにもほのぼとのした雰囲気の漂う中でとりおこなわれた。

【濱口道雄氏あいさつ要旨】

私は、濱口梧陵の孫の孫に当たります。立派な像を建立していただき、百五十年経て今もなお、梧陵が敬われ評価されていることを知り、感激しています。梧陵も冥界でさぞや感謝・感激していると存じます。

尽力いただいた関係者の方々に感謝の意を表したい。

五百年前に耐久高校がますます発展されることを祈念して、お祝いのあいさつとさせていただきます。

記念式典前の短時間な式とはいえ、来賓、関係者、近所の人々等、約三百余名の参加があつた。

姉妹校の米国・ケンブリッジアイサンティ高校、ニュージーランド・ケリケリ高校、中国・広東広雅中学校からそれぞれ学校長以下教職員が計十余名、遠路お越しいただき、また、千葉県銚子木国会の方々十一名も参加してくださいました。

また、県教育委員会からは、小関洋治教育長が出席された。

「学校史」発刊を最後に百五十周年全ての事業が無事完結出来ました事を皆様のご理解とご協力に感謝申し上げて報告させて頂きます。

この百五十周年を機に関東・関西・和歌山と三つの支部が再興され、「耐久の糸」の強さを確認でき、これらの糸の運営にも大きな収穫だつたと喜んでおります。

募金につきましては経済情勢、社会不安が深刻な時期にもかかわりません。それらを超えた母校愛と、お寄せ頂いた感動の秘話は枚挙に暇がありません。亦実行委員会七部門に於いて担当分野を精力的に消化し

世の中、後世に伝承してゆかねばならない技術・伝統・習慣・偉業がある。わが国において、その多くが回避できない自然災害に対して適切な行動をとった一人に濱口梧陵がいる。その話は小学国語読本で「稲むらの火」(作者中井常蔵)として掲載。多分全国的に有名になり美談として語り継がれたに違いない。私は昨年、著書「嵐の中の灯台」親子三代で読める感動の物語を読み、梧陵の逸話を知った。津波から多くの命を救った梧陵の才覚・機敏さ・英断には、感動を覚えると共に心から拍手したい。

除幕により現れたブロンズ像の濱口梧陵は、威厳に満ち、厳格な顔つきであった。人々に温かみや希望を与えてくれる顔つきの持ち主として私は写つた。

多くの卒業生、在校生及び来賓の出

席の下で挙行された除幕式では、梧陵の孫の孫に当たる千葉県銚子市在住の井當(いとう)哲朗氏として掲載。多分全国的に有名になり美談として語り継がれたに違いない。私は昨年、著書「嵐の中の灯台」親子三代で読める感動の物語を読み、梧陵の逸話を知った。津波から多くの命を救った梧陵の才覚・機敏さ・英断には、感動を覚えると共に心から拍手したい。

十一月一日～七日は耐久高校の学校開放週間であったが、一般者である私に快く除幕式などに参加させて下さった敷添泰弘校長及び事前の電話問い合わせに親切に対応して下さった先生方に厚くお礼を申し上げます。

て下さった方々のご苦労にも敬意を表したいと思います。

同窓会の糸とエネルギーは母校を育て発展に大きく関わるものと考えます。この大きな節目に耐久への更なる想いと相互の糸を大事にされる事を切望し、お礼の言葉とさせて頂きます。

同窓会長 橋本佳巳

◆みんなの成果 耐久150周年◆

「濱口梧陵のブロンズ像除幕式に参加して」

山口大学・工学部社会建設科教授 本哲郎 濱口道雄さん

の孫の孫に当たる千葉県銚子市在住の井當(いとう)哲朗氏として掲載。多分全国的に有名になり美談として語り継がれたに違

ない。私は昨年、著書「嵐の中の灯台」親子三代で読める感動の物語を読み、

梧陵の逸話を知った。津波から多くの命を救った梧陵の才覚・機敏さ・英

断には、感動を覚えると共に心から拍手したい。

十一月一日～七日は耐久高校の学校

開放週間であったが、一般者である私

に快く除幕式などに参加させて下さつ

た敷添泰弘校長及び事前の電話問い合わせに親切に対応して下さった先生方に

厚くお礼を申し上げます。

(日刊ウエーブ11月30日付に掲載された記事)

礎は嘉永の昔に - 耐久創立150周年記念式典式辞一

校長 薮添泰弘

本日は、県副知事様、文部科学省・鈴木視学官様を始め、多くの皆様方の御臨席の下に、耐久創立150周年記念式典をこのように行なうとして本当に嬉しく存じます。

御来賓の皆様、また先輩の皆様、公私とも大変御多用の中、わざわざ式場までお運び下さいまして、私どもの150周年をお祝い下さり、誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。

さて本校は、嘉永5年（1852）に、濱口梧陵、濱口東江、岩崎明岳先生によって設立された稽古場（耐久社）をその始まりとしています。

生徒諸君、今から丁度150年前といいましたら、我が国は一体どのような時代でありましたでしょうか。君達は歴史の学習等を通じてよく承知しているとは思いますが、当時我が国はまだ鎖国をしていました時代であります。ペリーがあの軍艦、黒船を率いて浦賀に来航する1年前の事であります。

尊皇攘夷の風が全国に起り、また国外に眼を向ければ、欧米諸国の植民地政策といいますか、とりわけアジア等への進出の動きが激しさを増していた頃であります。

濱口梧陵先生は、我が国がこのように内外共に、かつてない重大危機にあることを深く洞察し、この激動の社会を逞しく生きていける人間を、また社会の指導者となる人材の育成が何よりも重要であるとお考えになって、郷土の青年子弟に文武両道を教える「稽古場」をお創りになりました。これが丁度150年前のことです。

この稽古場は間もなく、いつまでも長く存続することを願って耐久社と名付けられます。さらに明治25年には「耐久学舎」と名を改め、その後は、私立耐久中学校へ、さらに大正9年には和歌山県立耐久中学校へと発展をとげまいりました。

そして昭和23年の学制改革により、それまでの古い伝統の上にさらに有田高等女学校の数々の遺産をも受け継いで、和歌山県立耐久高等学校となり、今日に至っているわけであります。

おそらくこれ程長く、多彩な歴史を辿ってまいりました学校は全国でも稀ではなかろうかと思います。

学問ノ要ハ安民ニアリ

梧陵先生の教育への想い、教育に寄せる熱い情熱の一滴が源流となって、その後先ほど申しましたような幾多の変遷を経ながら、今日まで150年の長きにわたって滔々と流れて参りましたこの姿を思い浮かべます時に、一つの大河ドラマを観る感がいたします。

梧陵先生は、耐久社での教育にあたって、その基本的なお考えを学則の冒頭に、「学問ノ要ハ安民ニアリ」と示しているとおり、我々が学問をする、勉強するのは、人々が、平和に、安心して生活出来るようにする事だと説いています。

また、我が国が国を開くにあたって、これは勝海舟の語っていますと梧陵先生は、「今日我が國最大重要課題は、外国との交際であって、その基となるのは、諸外国について広くよく知ること、そして同時に我が國の考え方を誠心誠意相手に伝えることである。」とおっしゃっています。

先生のこうした考え方、精神は、現在の社会においても全く新鮮でありますし、この有田の地に、また我が耐久高校に脈々と受け継がれていると考えております。

これまで耐久に学び、卒業していった卒業生は2万3千人を超えております。

ます。そして例えれば、東京大学名誉教授、日本原子力学会会長をお努めになり、文化勲章を受賞されました、今は亡き瀬藤象二先生をはじめ、本日この後御講演いただく、ガンの研究では国際的に著名な学者であります酒井敏行先生にいたるまで、様々な分野において実に多くの素晴らしい先輩が出ております。

今150年を振り返るにあたって、私達は改めて、長き歴史と伝統を持つ本校で、数々の素晴らしい先輩を送り出してきた本校と共に学び、生活していることに無上の喜びを感じるものでありますし、誇りとするところであります。

世をはた人を導かん

同時に私は生徒諸君に言いたいと思います。これは私が常々思っていることですが、伝統があるというのは、歴史が長いとか、昔は良かった、素晴らしいと、過去の灯を崇拜することではありません。伝統とは、過去の灯を崇拜することではなく、常に、耐えず灯を燃やし続けることである、と思うわけであります。

従って、今現在の君達が、先輩達がこれまで築いてくれた伝統をしっかりと受け止めながら、またこの美しい故郷や我が学び舎に対する限りない愛着と誇りを持って、勉強やスポーツその他様々な事に、君達の青春の限りを尽くして燃えて欲しいと思います。そしてその事によって、我が耐久高校の名と伝統を真に一層光り輝かしいものとしてくれますように強く願うものです。

もう一つは、私達の校歌には、これは卒業生であります清水康夫先生が君達と同じ高校生の頃にお作りになった校歌でありますが、この中で、「理想の峰は高くとも、真理の海は深くとも、耐うとうことを胸にひめ」と、様々な困難に対しても、忍耐の心を持って、果敢に挑戦する覚悟を歌っていますし、最後には「やがても文化華きて、たぢばな実をや結びなば」と、努力の成果が実ったその上は、「世をはた人を導かん」と歌っているではありませんか。皆さん今この時期を大切に、有意義に過ごし、やがては人のため、世のため、社会の発展のために尽くしていける人間を目指していくではありませんか。

本校はこれまで150年の長き歴史を刻んで参りました。しかし、これとても一人学校の努力だけで作った歴史では決してありません。国や県当局の絶大な御支援と御指導があったことは言うまでもありませんし、多くの先輩の皆様方、またとりわけ有田地方の、地域の皆様の本校への想い、耐久に寄せていただいた期待に支えられたらばこそということを我々は決して忘れてはならぬと思います。

私達は本日のこの記念すべき日を、創立者を始め、本校の連綿たる歴史と伝統を改めて想い起こすとともに、今後は私達自身の手によって新たな輝かしい歴史を刻んでいくのだと決意をする日としてお祝いしたいと思います。

最後に、本日多くのご来賓の中に、本校の海外の三つの姉妹校からも古き友人がお祝いに来てくれていますので、私から一言御礼を申し上げて式辞といたします。

Very lastly I'd like to express my sincere gratitudes to my old friends and special guests from America, New Zealand, and China.

Thank you very much for joining us at the festivities of 150th anniversary of Taikyu. Thank you very much again.

The ceremonies were filled with dignity and grace. (姉妹校出席者から寄せられた式典の印象)



創立150周年記念講演

〔演題〕私の癌研究の歩み —新しい治療法や予防法の開発を目指して—



京都府立医科大学教授
酒井敏行氏
(理24期)

式典の後、京都府立医科大学教授の酒井敏行氏(高校24期・理数科1期)の「私の癌研究の歩み—新しい治療法や予防法の開発を目指して—」と題するスライドを交えながらの興味深い講演が行われた。酒井氏は一九八七年三月で医学博士となり、一九八八年六月には米国ハーバード医科大学に留学、一九九六年(平成8年)から京都府立医科大学の公衆衛生学教室教授として癌についての研究を続けている。

講演は「高校時代の夢」「私の癌研究への歩み」「現う二つの内容で進められた。高校二年生の時に中学三年生の弟を癌でなくし、将来は癌の研究をしたいという夢を持つたいしさについて、また高校時代の友人たちや恩師の思い出などに触れながらユーモアを交えて若い頃の夢を語った。

発癌のメカニズムについては、ここ二十年間の研究で八割近くわかつてきており、原因に基づいた抗癌剤が開発されてきており、癌体質の診断が可能になってきていたことから癌抑制遺伝子の異常が見つかっても薬を投与することによって癌の治療に希望が持てるようになつていていること等、専門用語のわからない聴衆にもよくわかるように説明された。現在、研究テーマを「発癌は遺伝子の質的異常ではなく、量的な異常であれば治療ができる」と定め、癌の新しい治療法や予防法の開発等、発癌機構に立脚した現実的な予防法やモデルについてさらに研究を進めしており、多方面において成果を上げていると



最後に学生に望むこととして「具体的な夢を持つこと・可能性を信じること・粘り強く努力すること」という三つのメッセージが贈られた。記念式典・講演を通じて生徒は感銘深く参加すること

耐久高校出身の谷口維紹氏(高18期)から、「研究についてではテーマの絞り込みが重要である」といったアドバイスを受けたというエピソードも紹介された。

本校定時制玉置淳教諭をコーディネーターとして、姉妹校の代表の先生方を中心には、有田地方の学校関係者、本校生徒会の二名(的場亮介・岡本剛典)を含む八名のパネラーによる話し合いが行われた。地域の方々や本校教職員、生徒も聴衆として参加し、なごやかな雰囲気の中でケンブリッジ・アイサンティ高校(アメリカ)・ケリケリ高校(ニュージーランド)・広雅中学校(中国)・各代表者からそれぞれの学校の教育理念や方針が話された。また出席した生徒代表からは、各国での高校生の余暇の過ごし方についての質問が出され、各国の現代の高校生気質の一端を知ること

いて成果を上げているとのことであった。

また、東京大学教授で耐久高校出身の谷口維紹氏(高18期)から、「研究についてではテーマの絞り込みが重要である」といったアドバイスを受けたというエピソードも紹介された。

記念講演終了後、会場を本校会議室に移し国際フォーラムが開催された。

本校定時制玉置淳教諭をコーディネーターとして、姉妹校の代表の先生方を中心には、有田地方の学校関係者、本校生徒会の二名(的場亮介・岡本剛典)を含む八名のパネラーによる話し合いが行われた。地域の方々や本校教職員、生徒も聴衆として参加し、なごやかな雰囲気の中でケンブリッジ・アイサンティ高校(アメリカ)・ケリケリ高校(ニュージーランド)・広雅中学校(中国)・各代表者からそれぞれの学校の教育理念や方針が話された。また出席した生徒代表からは、各国での高校生の余暇の過ごし方についての質問が出され、各国の現代の高校生気質の一端を知ること

国際フォーラム



うまい肴・うまいワイン 料理・居酒屋 かどや 宮井 功(高28期) 湯浅駅下 Tel 62-2667	チカラワ動物病院 千川益生(高30期) 吉備町水尻 Tel 52-6152	一級建築士 学建築工房 平田 学(高31期) 大阪市北区東天満2-9-12-502 Tel 06-6881-3678	「新鮮・便利・親切」をモットーに... お弁当もご要望にお応えします。 Freshオカダなぎ店 岡田食料品株式会社 岡田 幸子(高11期) 湯浅町港区 Tel 64-0516
---	---	---	---

150周年の成功をお互い喜び合いたいと思います。

好評を得た記念展示

創立百五十周年を記念する展示が、式典前後の三日間、本校武道館に於いて開催された。会場いっぱいに「耐久百五十年のあゆみ」[創立者]

「すばらしい先輩」[現在校のクラブ活動]のコーナーが設けられ、百五十周年記念にふさわしい盛大な展示となつた。

期間中、全校生徒、同窓生ら、約千五百名が観覧。足を止めて興味深そうに見入っている姿も多く見られた。

創立者濱口梧陵、濱口東江、岩崎明岳の三翁と、その遺志を受け継ぎ、耐久社再興を志した濱口容所翁の展示コーナーには、当時の「学則」や、福沢諭吉からの書簡等が展示された。創立への熱意、

高い教養、そして時代の先覚者であったことが偲ばれる、格調高い展示であつた。

「すばらしい先輩」たちの業績を紹介するコーナーは、〈政治・行政〉〈産業・経済〉〈学術〉〈芸術〉〈スポーツ〉〈学校関係〉の、各界で活躍された、現在も活躍されている先輩たちの写真、経歴、文献、作品等を展示し、すばらしい業績を紹介した。

御本人、御遺族から、貴重な品々を提供して頂き、個性豊かで、充実した展示となつた。

永きにわたつて輝かしい成績を挙げてきた「相撲部」のコーナーには、数々の賞状、メダル、カップ、優勝旗、横綱が、OBの方々によつて運び込まれ、所狭しと展示された。全国に名をとどろかせた相撲部の強さを改

めて実感させられた。

会場を見渡せば、「真・健・美」の耐久精神を見事に受け継ぎ、花を咲かせた先輩たちの業績の結集が、そこにはあった。目には見えにくい歴史と伝統を見ることができたという思いで、感慨無量であつた。

「すばらしい先輩」の選出から、展示品の提供依頼、運搬、保管、パネル作り、会場設営と、展示部員は多くの労を費やした。会を重ね、万全を期して取り組んできたが、不備な点もあつたかと思う。特に「すばらしい先輩」の選定にあたつては、多くの人材を輩出している故、遗漏があつたかもしれない。この企画を次回につなげて、さらに様々な分野からすばらしい人材も紹介できればと、願うところである。



記念コンサート

記念式典を翌日に控えた十一月一日午後一時より、「ヒスティックブルー」のコンサートが本校体育館で開催された。なお、コンサート出演者については、記念事業実行委員会事業部と本校生徒会の代表で話し合った結果、有田地方では聞く機会の少ない若者に人気のロックグループを、ということで決定した。

会場には特設ステージセットが設けられ、九十分にわたつて迫力ある生演奏が繰り広げられた。

まさに聴衆も演奏者も一体となり、百五十周年を若者らしく祝福する躍動感あふれるステージとなつた。



同窓会活動報告

- | | | |
|-------|----------------------------|---|
| 9月5日 | 有田地方教育懇談会…(学校) 教育長、中学校長 | 他 |
| 10日 | 同窓会幹事会(湯浅地域福祉センター) | |
| 17日 | 150周年実行委員会 | |
| 27日 | 関西耐久会(ニューオオタニ)会長、上野委員長 | |
| 10月2日 | 旧耐久中・世話人会(広・浜口家) | |
| 7日 | 同窓会役員会(学校) | |
| 9日 | 150周年実行委員会 | |
| 10日 | 旧耐久中学の会(耐久社記念館)校長、上野委員長、会長 | 他 |
| 18日 | 国際理解講演会(ダニエル・カール氏)…本校体育館 | |
| 23日 | 150周年実行委員会 | |

- | | |
|---------|-----------------------|
| 26日 | 濱口梧陵像設置 |
| 11月1~3日 | 150周年記念展示(武道館) |
| 2日 | 除幕式・記念式典・講演(庭園・体育館) |
| 27日 | 実行委員・役員会 |
| 29日 | 150周年実行委員会・納会(学校・美屋井) |
| 12月6日 | 学校支援事業目録贈呈(上野委員長・会長) |
| 10日 | 同窓会役員会(ドリーム) |
| 2003 | |
| 1月15日 | 会報編集会議 |
| 2月12日 | 会報編集会議 |

創立150周年記念事業会計決算報告

(平成14年12月末日)

(I) 特定事業会計	収入合計	27,000,213	支出合計	27,000,213	差引	—
------------	------	------------	------	------------	----	---

(収入の部)

科目	決算額	備考
1 募金	25,200,000	
2 繰入金	1,800,000	一般事業募資金会計より繰入
3 受取利子	213	
合 計	27,000,213	

(支出の部)

科目	決算額	備考
1 前庭等整備費	25,000,000	
2 募金経費	2,000,213	
1 印刷費	720,000	趣意書印刷、封筒、振込用紙印刷
2 通信費	938,700	趣意書発送料、領収書発送料
3 雑 費	341,513	振込手数料、交通費、消耗品等
合 計	27,000,213	

(II) 一般事業会計	収入合計	47,065,967	支出合計	47,065,967	差引	—
-------------	------	------------	------	------------	----	---

(収入の部)

科目	決算額	備考
1 寄付金	46,010,000	一般寄付、有田高女会計より
2 その他	1,055,967	記念式典祝儀、預金利息、PTA会計より
合 計	47,065,967	

(支出の部)

科 目	決 算 額	備 考
1 記念事業費	18,283,834	
1 ブロンズ像関係費	9,335,620	鋳造・運搬、門扉塗装、周辺整備 他
2 懸賞論文関係	1,951,985	賞金、旅費、パンフレット印刷・送料、審査、優秀作品印刷 他
3 国際理解講演フォーラム	1,301,807	ダニエルカール氏派遣料、看板、教育懇話会 他
4 記念展示費	1,097,279	資料展示・作成費、会場設営費、警備 他
5 展示資料・展示品保管庫	450,000	保管庫購入
6 学校諸活動支援費	4,147,143	人文字航空写真、先輩による授業、学校諸活動支援 他
2 式典行事費	4,972,552	
1 式典費	863,372	会場設営・運営関連費、プログラム封筒印刷 他
2 記念品費	4,109,180	生徒、来賓・役員・委員他記念品
3 記念コンサート関係費	3,509,555	ヒスティリックブルー公演料
4 記念誌費	4,970,200	150年校史発行、郵送料
5 事務局費	12,757,746	
1 パート人件費	1,121,941	事務処理臨時雇用
2 通信連絡費	387,165	ハガキ、手紙、案内状等事務連絡 他
3 実行委員会・事務局運営費	3,285,936	事務処理FD、姉妹校来賓招待、会議運営、事務用品・諸費
4 広告費	515,989	150周年記念関連広報、垂れ幕 他
5 趣意書関連費	4,450,458	趣意書・振込用紙・会報等制作・郵送料 他
6 役員・委員旅費	2,996,257	実行委員会役員・各専門部部員出張旅費 他
6 同窓会館設立基金	444,520	
7 予備費	327,560	卒期別寄付依頼文発送料 他
8 繰出金	1,800,000	特定事業募資金会計へ繰り出し
合 計	47,065,967	

特定募金	25,200,213	一般募金	47,065,967	募金合計	72,266,180
------	------------	------	------------	------	------------

耐久高校創立150周年記念事業実施に当たっては過分のご厚志を賜り、誠に有難うございました。

記念事業につきましては不行き届きの点もございましたが、無事完了いたしましたので、上記の通り決算報告

をいたします。

なお決算以後、ご入金いただきましたご寄附につきましては、同窓会館設立基金に充当させていただいております。今後ともよろしくお願いいたします。

聞くと、毎日のように立読みしているが高価な本 ゆえ購入が無理と思い、 読むのを黙認している。 との話で、私はその青年 の真剣さにうたれ援助を 続けるようになつた。

しかし、この私も老齢 となり北海道から江戸に 来ることも至難となつた そこで、日頃より若いが

二人はその後、終生の友となる。梧陵の歿後、郷里の広八幡社に建てられた顕彰碑には、海舟の題額と撰文が刻まれてゐる。

寛斎は長崎で共に学んだ司馬凌海と共に著した『七新薬』を中心とした上中下三巻の本に纏めて上梓する。

「この新築にあたつて
は、かつて無名時代の勝
海舟に洋書購読費を与えた
たり、或いは閔寛齋に金
を与えて長崎に留学させ

末期に商業界から多く出た知識人の一人で、見識において第一級といえた」とも述べている。

が訪ずれてきた。彼の話すところによると、「或る書店に立寄つた際、一人の青年が食い入るように洋書を読んでいる姿が目にとまり、店主に聞くと、毎日のように読みしているが高価ゆえ購入が無理と困り読むのを黙認しているとの話で、私はその真剣さにうたれ様続けるようになつた

梧陵は、新しい時代の到来を目前にして、人材の育成が何より大切と考えていた。

人材の育成



勝 海舟

年少ではあるが、学問の深さと、もの怖じしない態度に感服させられた。青年の名は勝麟太郎（一八二三）九九）のちの海舟で、まだ旗本の部屋住みの頃であつた。

の怖じしない態度に感服させられた。

寛斎は梧陵の厚情に感激。長崎でオランダの医師ボンペに懸命に学び、数年で日本医学の先達者となつた。

同じ頃、各地で天然痘が蔓延する。そのため江戸のお玉が池の地に、三宅良齋ら蘭方医が天然痘の予防研究のための種痘館を開設した。

の功績は大きい。
この種痘所は、四日に一度、市民の希望者のためにそれを施すというものが、合せて構内に、蘭方医学を学びたい書生のための勉強室も設けられていた。粗放ながら、学校の性格もあつたとい

梧陵は、この青年に会つてみると、彼より三歳見込み、この青年の援助を頼みたい」と懇願された。

○一九一二の素質を見込み、「医は救民のためにある。しかし貴方の医学では病人も治せない」といつて、長崎留学を勧め、その経費と家族の生活を保障した。

薬品は外國から多量に渡入したが、医師達は薬理を知らず、いかなる病気ほどのように投与するかも判らぬまま使われてゐる現状で、薬学の出版が急務であつた。

これに応えたこの書物は、医師の必携の書とし

新薬』の出版費を出した。りした浜口梧陵が多額の寄付をした。もし寄付者の名前を冠するアメリカの場合は、浜口梧陵種痘所というふうに称されたに違いない。後年、小泉八雲が梧陵のことを生きた神といったが、この

連載
浜口悟陵(6)

垣内貞

當時、安政条約で幕
が各国と通商条約を結び
薬品は外国から多量に流

たり、また寛斎と伊之助（司馬凌海）の共著『七
新薬』の出版費を出した

<p>支部連絡先</p> <p>関東耐久会 会長 高居富一 〒112-8668 東京都文京区関口1-44-10 (株)アイ・エヌ・エー4F Tel 03-5261-5885</p>	<p>関西耐久会 会長 阪本禎三 〒537-0022 大阪市東成区中本2-12-8 阪本禎三 Tel 06-6971-8708</p>	<p>和歌山耐久会 会長 北一視 〒641-0034 和歌山市新高町6-9 北一視税理士事務所 Tel 073-445-1133</p>
--	--	---

150周年記念事業

がんばれ母校先輩が先生

12月10日(火) 於 本校会議室



1978年大学3回生の冬、京都市河原町今出川にできたミスタードーナツにおいてブルーバックスの「水とはなにか」という本を読み、圧力をかけると融けるというような性質を持つ水に興味を持ちました。そこで研究室を選ぶ際に水に関する研究をしている所を探し、フッ素系溶融塩の中に含まれる微量の水の挙動を調べている研究室を選びました。その溶融塩を電気分解する際に使われているのが炭素電極で、それ以来、炭素とフッ素にこだわり、それらに関する研究（研究内容に続く）を続けています。

大阪電気通信大学教授
川口雅之 氏（理50年卒）

さて、過日、二名の日本人科学者がノーベル賞受賞という快挍に世間が大騒ぎしたように、日本の化学・物理関係の研究は世界トップレベルであることは周知のとおりです。そのような同分野での研究をなさつてゐる川口氏の講演ということで、生徒たちの興味・関心も刺激されたことでしょう。とかく理解しがたいと思われがちな化学について、今回は「化学はおもしろいかもしない」と題して、身の回りのことを基に実験等も取り入れながら、やさしく説明・解説していただきました。

ビデオプロジェクターを使っての実験の演示、実際に液体窒素を用いた実験等が行われ、化学嫌いの生徒にも好評で、講演終了後も実験をするために残っていた生徒が何名かいだしました。

酸素が磁石にくつつくとい

グローバル探求科生を対象に実施してきた本授業も三回目、最終回となりました。今回は、本校昭和五十一年卒業（高理四期生・宮原町出身）の川口雅之氏にお話をいただきました。川口氏は、現在大阪電気通信大学大学院で教鞭をとられ、ご専門は工業化学生材料工学です。本大学院川口研究所では、炭素やフッ素からなる機能性材料の合成と物性、それらの応用について研究しておられるということです。

簡単な言葉、身近なものを例にとって説明をしてくれたので少しばかりは理解できたかなつて思いました。話は難しかったけれど、分かりやすく話してくれたので少しは理解できたかなつて思いました。先生の話を聞いていると化学もなかなかおもしろいかもと思いました。先生の話を聞いていました。先生の話を聞く

うには驚いた。
地球には様々な物質があるのだな。色々な性質を持っているのだな。そして私たちの生活に役立っているのだな。水素エネルギーにはすごく期待しています。化石燃料にかわるエネルギーになつてほしいと思いました。化学は私たちには難しそうでちょっとつらかった。私もガローバルに化学の話は必要かと思った。



[川口雅之先生略歴]

- 1979年 同志社大学工業化学生卒業
- 1981年 京都大学工学研究科・工業化学専攻修士課程修了
- 1984年 同専攻博士課程修了（工学博士）
- 1984年 セントラル硝子㈱入社、宇部研究所 研究員
- 1985-1986年 California University・Berkeley校 研究員
- 1994年 大阪電気通信大学・工学部・電子物理工学科・講師および大学院・工学研究科・総合電子工学専攻担当教員助教授
- 1995年 教授（電子材料工学科）
- 1999年 大学院・工学研究科・総合電子工学専攻指導教員
- 2000年

150周年を記念して校歌集CDを発売
(旧制中学校・有田高女・耐久高校)

期毎の同窓会時に便利かと思います。
申込は学校事務局(62-4148)へ

¥1,500-

企画・制作 耐久同窓会

カラープリント・APS・スピード仕上・各種記念写真・由張撮影

フォトショッププラス

湯浅町湯浅1852 (ユピア1F) TEL (FAX) 63-2170

DREAM

活魚定食・ステーキ・コーヒー
レストランドリーム
湯浅税務署前 Tel.62-4611

有田の地酒一
くまのみち醸造元
高垣酒造場
高垣淳一 (高35期)
金屋町小川 TEL.0737-34-2109代

石碑・石材工事一式
広川靈苑・湯浅靈苑指定

イシャ石工

石家稻男 (45年卒)
広川町広小学校前
TEL・FAX 0737-63-5259
自宅電話 0737-63-5057

最近まざらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意下さい。

感動の十一月一日

旧中35期 高垣 源徳



「耐久」創立百五十周年
記念式典は大成功だった。
とてもよかつた！感動した。
二年間の取り組みの成果が
結実した。

何が式典を成功させたのか。

セレモニーの出来不出来は、
しっかりと役者による幕
開けにかかっているといつ
てよからう。今回の成功は、
冒頭の三人による挨拶にあ
つたと言つても過言ではな
かった。

開会宣言に立つた橋本同
窓会長は開口一番、厳しい
社会・経済情勢の中での記
念事業へのご協力・ご援助
に対する謝意を述べられ、
今日午前中に校庭に開眼除
幕された創設者濱口梧陵像
最後に挨拶を述べられた、今後
の「耐久精神」継続の決
意は嬉しく聞くことが出来た。

結びに述べられた、今後
らされた上野実行委員
長は、耐久の建学の
精神から、特に昭和
二十三年の学制改革
に触れられ、過去百
五十年の激動の中で「耐
久」の名が消えるこ
となく、また変わる
事なく今日に至つて
いる事を強調され、
今後とも校訓『真・健・

無駄なく、格調高く、しか
も生徒達にも分かりやすく
語り掛け、見事にまとめあ
げた。中でも創始者の「建
学の精神」就中、基本的な
目標として挙げられた「學
問ノ要ハ安民ニアリ」とい
う件には感動を覚えた。

戦後、県下の伝統校は学
制改革の折、和中が桐蔭・
海草が向陽・和商が星林と
改名を強いられた中で耐久
は創始者濱口梧陵の国際的
行為が改名を迫られなかつ
た理由ではという逸話を想
い出し、「一入感慨を深くした。

以上のよう記念式典冒
頭に行なわれた三名の情熱
を吐露されたお話が参加者
の共感を呼んだのではないか
ろうか。

この三十分間の重みがこ
の式典の成功を導いたと私
は確信したのだつた。

式後、暮れそめた前庭の
梧陵像の周辺には卒業生達
の姿が去りもやらず逍遙し、
大会の余韻に浸つてゐる姿
が印象的だつた。

※筆者(式典実行委員)の日記から
この三十分間の重みがこ
の式典の成功を導いたと私
は確信したのだつた。

この三十分間の重みがこ
の式典の成功を導いたと私
は確信したのだつた。

式後、暮れそめた前庭の
梧陵像の周辺には卒業生達
の姿が去りもやらず逍遙し、
大会の余韻に浸つてゐる姿
が印象的だつた。

これは卒業生みんなの母
校である。文貴齋 藤春太郎

(旧中40期)

これは卒業生みんなの母
校である。文貴齋



有田高女同窓会 東京支部終止符へ

関東在住の私達の心の拠り所であつた「有田高女同窓会東京支部会」は平成十四年九月二十五日を以て円満に終止符が打たれました。戦後松本やゑ子先生や有志の方々によつて始められた会でしたが、段々と会員も増加し、幹事も当番制になり、それぞれ安くて良い場所を探し、お花を貰でる庭園・景色の良い公園・有名料理屋の味などを楽しみにして、随分永い間続きました。その間、松本先生も横浜にお住まいになられ出席して頂きました。

毎回本部から、竹中先生や伏木さんがわざわざお越し下さり、郷里のお話を伺うことが出来て本当に良い集まりでした。本部の総会も終わりました。東京支部会も若返る



会員の皆さまのご厚誼に厚くお礼申し上げ、併せて皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

前島和子(21期)

最終会は22期生が当番を引き受けましたので、有田からも五名の同期生が応援に駆け付け総勢二十一名。中でも九十三歳になられ

26期生の名嶋照仔さんが、初春にふさわしいお目出度い詩舞を披露して下さいました。会半ば、耐久高等学校長葛添先生がご多忙中に

最初に伏木富紀子会長のご挨拶、続いて森岡千代子会計から詳細な報告があり、10期生の萩前うたさんの乾杯の音頭で懇親会に入りました。

26期生の山員さんが出席下さいました。大寒の入りの寒い日にもかかわらず、三十六名の委員さんが出席下さいました。

有田高女同窓会委員会



ことはありませんので、お当番の引き受けも難しいところも出来て、そろそろ潮流ということがなりました。幸いに「関東耐久会」が発足し、これからは「耐久会」に出席すれば、色々な年代の皆さんにお目にかかるまことにかかりま

久しぶりに集まつた皆さんを、26期生の山際ヒロさんがお手持ちのカメラで記念撮影して下さいました。

歴史ある母校の、百五十年周年という意義ある記念行事に、多少とも協力させていただけましたことを幸せに思います。

崎山民子(23期)

=一通の便りから=

庭の小菊が一輪まつ白に、寒風にゆれながらも強く咲いています。

いるのを、昔女学校で唱った歌の様に感じ居ります。「耐久校史」ご送付有難う。

大変なご苦労だつたと感謝いたします。懐しい箇所も多く、運びたくなりました。

仲良し四人組とも連絡がつき賀状も頂きました。脳梗塞でのつまる思いです。八十路も近くなると色々考えさせられます。皆様も健康で明るく楽しい日々を過ごせますよう念じて

桑名市 山口美寿子(20期)

新鮮・味自慢
本場紀州産自家加工品

金上しらす	しらす干
上干ちりめん	かえりちりめん
塩わかめ	こうなご(小女子)
小女子つくだ煮	

◆地方発送承ります。

△有限公司 村忠水産
代表者 村田勝

和歌山県有田郡湯浅町田山335-1
TEL: 0737-63-0838 (工場)
64-1831 (自宅)
FAX: 0737-62-5031

警告! 身に覚えのない携帯電話使用料の督促状が同窓生宛に送りつけられています。絶対に代金を振り込んだりせず、督促状には応じないで下さい。

耐久150周年記念 「耐久校史」発刊

(A4判 279頁)

150年の歩みを広角的に網羅した
劳作です。是非お求め下さい。

お申込は学校事務局 (62-4148)
¥5,000

祝 創立150周年

廣済堂が貴校150周年記念事業のお手伝いをさせていただきました。

株式会社 廣済堂

大阪事業部 データベース部
豊中市猪池西町22-1 TEL (06) 6855-9240
URL: http://www.k-koasido.co.jp

kounet
くわん

- 文具・事務用品
- 電子文具・OA機器
- コンピュータサプライ
- オフィス家具 他

株式会社 大栄商事

本社: 和歌山市塙屋5丁目4-33
TEL: 073-446-4511
FAX: 073-446-4512
E-MAIL: daiei@daiei-s.com
ホームページ:
http://www.daiei-s.com
大阪営業所:
(フリーダイヤル) 0120-464-509



高3期

150周年に合わせての集い



式典の前日（11月1日）和歌山・アバローム紀の国で一泊同窓会。
2日の式典にも参加。除幕したての梧陵像前でハイパチリ。

二〇〇二年一月二日、有田川温泉
鮎茶屋において、42期卒業生初めて
の学年同窓会を開催しました。参加
人数は担任恩師を含めて一一三名。
多くは担任恩師を含めて一一三名。
多数ご参集頂きましたこと、紙面を
拝借し、あらためて御礼申し上げま
す。

我々が母校を後にして、早十三年。
一人一人、それぞれの道を歩んでき
ました。関東、九州、北海道、外国
へと活躍の場を移し、出会い、ある
いは別れ、結婚、子ども、リストラ、
転職、とても一日では語り尽くせな
いそれぞれの物語がありました。遠
くドイツで声楽の教師をしている友
もいました。また、残念ながら早く
この世を去つた同窓の友、二名。
その心中や如何。たかが十年、され
ど十年。今回、耐久高校という縁に
つながれた我々が再会できたことは、
何よりの喜びでした。当日は三尾精
二先生の乾杯の挨拶にはじまり、立
食形式で食事をした後、ビンゴゲー
ムなどもまじえながらのアッという
間の三時間でした。緊迫した世界情
勢、大地震が懸念される中、何年後
かの同窓会が今回のように平和なう
ちに開催できるかどうか、その保証
はどこにもありません。けれど、い
つかまた、年輪を重ねた友に会える
日を楽しみに、生きていくたいと思
います。

松下瑞良記



高42期

初めての同窓会



旧制耐久中学校 生石会開く

私達生石会は、現在第19期卒業の福井氏を
はじめ43期生まで総勢四十三名のメンバーで
あります。

去る一月十八日、旧交を温め学校時代の懐
かしい想い出を語り合う会を、会員十八名の
参加のもとに小川の「竹屋」で開きました。

滑正種氏の司会により、亡くなられた同窓
諸氏を偲び黙祷を捧げました。続いて本年十
月に挙行された耐久創立一五〇周年記念行
事について、会員各位のご協力とご援助に謝
辞を述べ、「同窓会報十号」と「特別号」を配
りました。



挨拶に立った岩本会長より、清秋の一日（十
四年十月十日）、思い出の広耐久社記念館で
行われた「旧制耐久中OB有志による創立一
五〇周年記念事業に協力する会」で、東浜口
家のご厚意で邸宅及び庭園を拝見させていた
だいた事や、グラウンド北側のスタンドでの応
援練習、名物「タコツリ」などの思い出話に
花が咲き、最後に記念撮影が行われ
た事など報告され
ました。

高垣源徳記

耐久の誇栄をお祈りします。
(旧中40期)
斎藤春太郎

コスモ石油
薮野幸一商店
薮野 修(高3期)
TEL 0737-63-5161
本店 国道店 0737-62-2733

塗装のことなら
中内塗装
中内祐也(高45期)
湯浅町山田10-13 TEL 63-3769

割烹美屋井
湯浅町2922 TEL 63-3640
仕出し宮井料理店
湯浅町753 TEL 62-2207
宮井慶三(高7期)

カラオケ
さくら
西村昌子
湯浅西大宮通り。西村薬店裏
TEL 0737-63-2760

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。



高1期

150周年を記念しての集い

昨年十一月一日正午頃、風光明媚な有田市矢櫃海岸には薄雲が垂れ、小雨が静かに海面に吸い込まれていきました。

伝統ある学舎耐久の百五十年記念式典を明日に控えて、私達高1期生は有田観光ホテルに集合しました。既に古稀を過ぎた者に似合わず明るい笑顔、若々しい身振りに出迎える方がびっくりです。「ヤアお元気、

お久し振り…」の声もそこにロビーのクッショーンにおさまり、先ずは記念撮影となり同窓会の幕開けとなりました。

お配りした会報・名簿をそれぞれ手にすばらしい海の幸の酒肴の待つ部屋に案内され、一瞬落書きを取り戻し、さて恒例の式次第も静粛と笑いのうちに過ぎ、小槙君、藤木君、松井さん

にスピーチを、清水君には

記念行事の説明をお願いしました。

あとは何時もの通り同窓会特有の雰囲気となり皆さん方と大同小異。

前回箕面観光ホテルで京阪神地区の皆さんにお世話になつて以来本当に楽しい一時でした。愉快な折は時の流れも早く、清水君作詞の校歌を合唱し、明日の式典に全員参加する事を誓い現地解散した。

”年年歳歳人同じからず“

平成十五年一月

林 宜貞 雄記

高18期

四年に一度といわす 来年もやろう

四年に一度の割合で開催している18期の同窓会であるが、今回は創立記念の年に合わせての一年早い同窓会となつた。日時は創立記念式典当日の十一月二日(土)で、午後六時から「南部ロイヤルホテル」で開催という初めでの泊付き同窓会となつた。泊まりといふことで、参加者数が心配されたが東は東京、西は広島より合わせて一〇七名の参加者があり、幹事のみなさんを一安心させた。

当日は、母校での記念式典に参加したあと駆けつけた者、ゴルフに興じたあと駆けつけた者、土曜日であるにも関わらず仕事に汗したあと駆けつけた者等様々であつた。

午後六時からの会は、先ず全員で記念写真を作製した校歌CDに合わせて校歌を元気よく齊唱し、クラス別ティー

ブルで旧交を温めた。

毎回同窓会に参加している者、今回初めて参加した者、久しぶりに参加した者等こちらも様々であったが、数分も経たないうちに全員



あなた町の郵便局

吉備郵便局

吉備郵便局

平松正彦(高27期)

〒643-0021 有田郡吉備町下津野563-5
TEL. 0737-52-5000

有田保田郵便局

上田代志美(高22期)
〒649-0311 有田市辻堂594-1
TEL. 0737-83-3010

広川郵便局

金丸誠司(高23期)
〒643-0071 有田郡広川町広1524
TEL. 0737-62-4201

津木郵便局

赤田修己(高19期)
〒643-0051 有田郡広川町下津木715-2
TEL. 0737-67-2050

警告！ 身に覚えのない携帯電話使用料の督促状が同窓生宛に送りつけられています。絶対に代金を振り込んだりせず、督促状には応じないで下さい。

辻岡俊明記

「四年に一度といわす、
来年もやろう。」とい
う声があちこちで聞かれ、
時の経過と年齢をあら
ためて感じさせる同窓
会であった。「幹事の
みなさん本当にありがとうございました。」

しばらくしてからク
ラス順に一人ひとり舞
台に立って近況を報告
したが、これまた人生色々
で、高校を卒業してから
三十六年という歳月
の流れを感じさせるも
のが多かった。二次会
はカラオケ、三次会は
部屋でのダベリング等、
時間無制限の泊付きな
らではの楽しい同窓会

高校時代に
各テーブル
に会話の花
が咲いた。

駆けつけた者、ゴルフ
に興じたあと駆けつけ
た者、土曜日であるに
も関わらず仕事に汗し
たあと駆けつけた者等々
であつた。

であつた。

耐久創立150周年
高4期生卒業50周年
記念同窓会

4期生卒業五十周年同窓会を十一月二日、三日の二日間、恩師広井先生をお迎えし級友五十三名（男子二十五名、女子二十八名）の出席のもとに開催致しました。今回の同窓会は卒業以来節目の半世紀に合せ耐久創立百五十周年という意義ある集い

となりました。記念式典及び記念講演に出席した後、本日建立されたばかりの濱口梧陵先生像前での記念撮影など楽しく感動の一日を過ごさせていただきました。

それにつけても我が母校は耐久社、旧制耐久中学、有田高等女学校から現在の耐久高校へと百五十年の歴史と伝統の重みを強く再認識したところです。盛大に開催された百五十周年記念式典、各種記念事業の実施に当つて級友で同窓会長の橋本佳巳氏の並々ならぬご苦労に感謝一杯です。

有田観光ホテルでの懇親会には西邑孝氏のくじ遊び、岩崎弥生氏による詩舞など五十年前にタイムスリップしてのつきない歓談に感慨ひとしおの一夜でした。

池田幸世記

4期生シルクロードの旅（案）

△九月一日～八日
◇ウルムチ・カシュガル
トルファン・敦煌の旅
（前田滋子他）
有志による中国への旅は、昨年に統いて三回目、少しでも歳を重ねぬうちに、ご一緒しませんか。



II 感動いっぱいの集い II

ばかモノどもが夢の後

平成15年1月2日、湯浅町「かどや」に於いて、高校35期3年3組のクラスメイト23名が参加し、20周年の同窓会を開催したが、何度目の同窓会になるのだろう。

5年前とくらべて、腹の突き出たやつがいる。
髪の生え際が上がったやつがいる。
目じりのしわが増えたやつがいる。
化粧がきつくなつたやつもいる。
出世したやつがいる。
就職したてのやつもいる。
子ども自慢のやつがいる。
旦那の自慢をするやつがいる。
そして、死んでしまつたやつもいる。
みんな、酔っ払い、亡き友のことを語り合い、再会を祝つた。
原和尚も吉田先生も相変わらずお元気だ。
正体を無くしたやつもいる。宴はなかなか終わらない。
きっと5年後も、みんな中身は変わっていまい。
だって、高校3年のあのころから、馬鹿騒ぎをする様は、少しも変わってないのだから。 坂本桂記



高34期（昭和57年卒）柏原組（3年6組）クラス会

日時 平成15年1月2日 午前11時～



卒業後20年、30代最後の年に柏原組20名の懐かしい面々が、湯浅城に集まつた。

前回（5年前）に引き続いてお世話くださつた西山君・江川さんの乾杯の音頭。宴たけなわとなつたところで恩師・柏原政夫美先生のご挨拶、各自の近況報告で場は最高潮に盛り上がる。だれかの粋なはからいで持参された一冊の卒業アルバムは、懐かしいあの頃の思い出話に拍車をかけ、予定時間を大幅に上回る楽しい宴となつた。

次回幹事は山崎・水野・林・藤井の4名に無理矢理（？）決定し、すばらしい再会と花の40代元年の幸福なスタートを誓い合つた。

白井敏之記

バドミントン部の巻

道館)ましたが、近年は衰退していきました。何とか元のOB会を中心とした地域でのジュニア育成・本校バドミントン部強化育成にと取り組んで頂いています。その結果、

部活OB・OGたちの

創部50年



東 志乃・岩岡真由美ペア

和歌山県勢としては三十年振りの二回戦突破と言う偉業も達成でき(二回戦・準優勝校に惜しくも敗退)第二歩を踏み出せたと心より関係者一同喜んでおります。

パドミントン部は本年度で創部五十年を迎えること八月には、OBを中心としてOB五十年周年とあつてOBを中心としてOB五十年周年を迎えた。創立百五十周年での五十年周年とあつて八月には、OBを中心として盛大に式典・OB大会・地域小中学生ジニア大会を企画運営し盛況の内に終了することが出来ました。部活の方も併せて好成績を残せるようになつてきました。

元々、本校バドミントン部(女子部)は、近畿・全国でも黒パン族と呼ばれ恐れられています。色んな面で和歌山県内高校バドミントンの発信源でもあります、和歌山国体でも、バドミントン会場とし使用され(現武

これも、OBの皆様方の歴史に裏付けられた思いと感謝致しております。OBと現場の教職員が一つになり、現役選手を思い、どういう方法で触れ合つていかが大きな力を生み出すのだと考えます。生徒達は、日々変化し目標に向けて邁進しています。これからも地域の皆様、同窓会の皆様方のご支援ご鞭撻を頂き、成長して行きたく考えていますので宜しくお願ひ致します。

顧問 井角忠彦

Echo!

「耐久校史」受領。難う。装丁すつきりで感じのよいもの、新しく書き加えられたもので、私の関係した「あさも事象」も適確な表現でよかつたと思ひます。

(広井 隆)

過去の校史に較べてスマートで、一寸拝見した所、知りたいことがコンパクトに整理編集されていて読み易く出来ている。と云うのが第一印象でした。先ずは御礼まで。

(高居富一)

会報へのご支援ご献金ありがとうございます

(前田百合子)

平成十四年度全国高校総体出場女子団体メンバー

(三年生) 青木優弥・坂本有希・牛居美香・佐々木有佳子・久保田 香

(二年生) 東 志乃・川口詔子・田端由貴・安田菜津子・宮本加佳子
(一年生) 岩岡真由美・北野里奈・川崎芳恵



同窓
俳壇

市ノ瀬伊久男(職員)

濱口梧陵翁像除幕式

・錦秋の良き日賜り除幕かな

・錦秋の故郷の道歩まれよ

・春浅し手品師が生む矢檜洋子(高3期)
・春浅し手品師が生む白い鳩

同窓
歌壇

下野香代(高20期)

・収穫され荷を降ろしたる蜜柑木の
・歌を詠み花を活くるを
・刻モノクロに移る瞬間

中内京子(高15期)

下野香代(高20期)

会報『耐久』十一号をお届けします。

思えば、第一号発行のとき、一五〇周年記念のことが念頭にありました。ご覧のとおり、今号は記念行事の報告などが記事の中心になりました。編集に関わってきた者として、感慨切なるものがあります。

母校は、一五〇周年を機に新たな発展の時を迎えるとしています。同窓会としても母校に足並みを揃えて生々発展の道を歩まねばならないと考へます。

今まで会報が滞りなく発行できましたのも、多忙中の執筆や取材、写真や資料の提供、様々な形での資金面の援助、読後の感想をお寄せいただくなど、陰に陽にご協力くださった皆様方のお力添えのおかげであると感謝しています。今後も発刊の初志を忘れるこことなく、皆様のご期待に応えるよう努力する所存です。

更なるご支援・ご提言をお願いいたします。

『編集後記』

「同窓会報『耐久』は新しい役員体制のもと、同窓会組織の強化・活性化及び会員相互の情報交換等を目的として数年ぶりに発行する事となりましたが……」これが本誌創刊号「編集後記」の冒頭でした。